

題名： A Comparison of Two Alternative Composite Leading Indicators
for Detecting Japanese Business Cycle Turning Points

著者：山田 宏（広島大学大学院社会科学部研究科）

永田 修一（広島大学大学院社会科学部研究科 博士後期課程）

本多 佑三（大阪大学大学院経済学研究科）

報告の概要：

この論文では、我が国の代表的な2つの景気先行指数のパフォーマンスを比較した結果を報告する。代表的な2つの景気先行指数のうちひとつはOECDによるCLIであり、もうひとつは内閣府による先行CIである。これらの指標はともにわが国の景気の先行きを予測するためによく用いられる指数である。景気の先行きに関してこれらの指標が相異なる予測を示した場合、我々はその結果をどう評価すればよいのであろうか。この論文で示す両指標のパフォーマンス比較結果はこの問いに対するひとつの答えを提供する。パフォーマンスの評価のためには、両指標の転換点を特定する必要がある。本論文では、そのために、Iacobucci and Noullez (2005) で提案されたフリークエンシー・セレクトティブ・フィルタおよびこの分野で古くから知られている Bry-Boschan(1973) で提案された方法を用いる。追加分析として Harding and Pagan(2002) により提案されたコンコーダンス・インデックスの値を評価する。最後に得られた両指標のパフォーマンスの相違が何によりもたらされたのかを指標の計算方法の相違、構成系列の相違という2つの観点から考察する。